

# 2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

2024年4月～2024年12月（第196期第3四半期連結累計期間）

2025年 1月 31日  
日本車輛製造株式会社

## 目次

1. 2025年3月期第3四半期累計連結決算の概要
  - (1) 業績の概要
  - (2) セグメント別業績
  
2. 2025年3月期 連結通期業績見通し

## 業績の概要（2025年3月期第3四半期累計期間）

売上：鉄道車両事業、建設機械事業、輸送用機器・鉄構事業の増収により、全体として増収

利益：建設機械事業、エンジニアリング事業の増益により、全体として増益

（単位：億円）

	前期	当期	増減	前期比
売上高	589	708	+119	+20.3%
営業利益	41	45	+4	+11.8%
経常利益	43	49	+6	+13.8%
（売上高経常利益率）	（7.4%）	（7.0%）	（△0.4%）	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	36	40	+3	+11.0%

# セグメント別業績（2025年3月期第3四半期累計期間）

（単位：億円）

	売上高			営業損益		
	前期	当期	増減	前期	当期	増減
鉄道車両	264	336	+72	16	16	△0
建設機械	148	168	+19	25	31	+5
輸送用機器・鉄構	129	160	+31	5	3	△2
エンジニアリング	46	43	△3	0	3	+2
その他/調整額	0	0	△0	△7	△7	△0
合計	589	708	+119	41	45	+4

※ 「調整額」は、セグメントに帰属しない一般管理費、セグメント間取引消去などを含んでいる

# 鉄道車両事業

## <売上高>

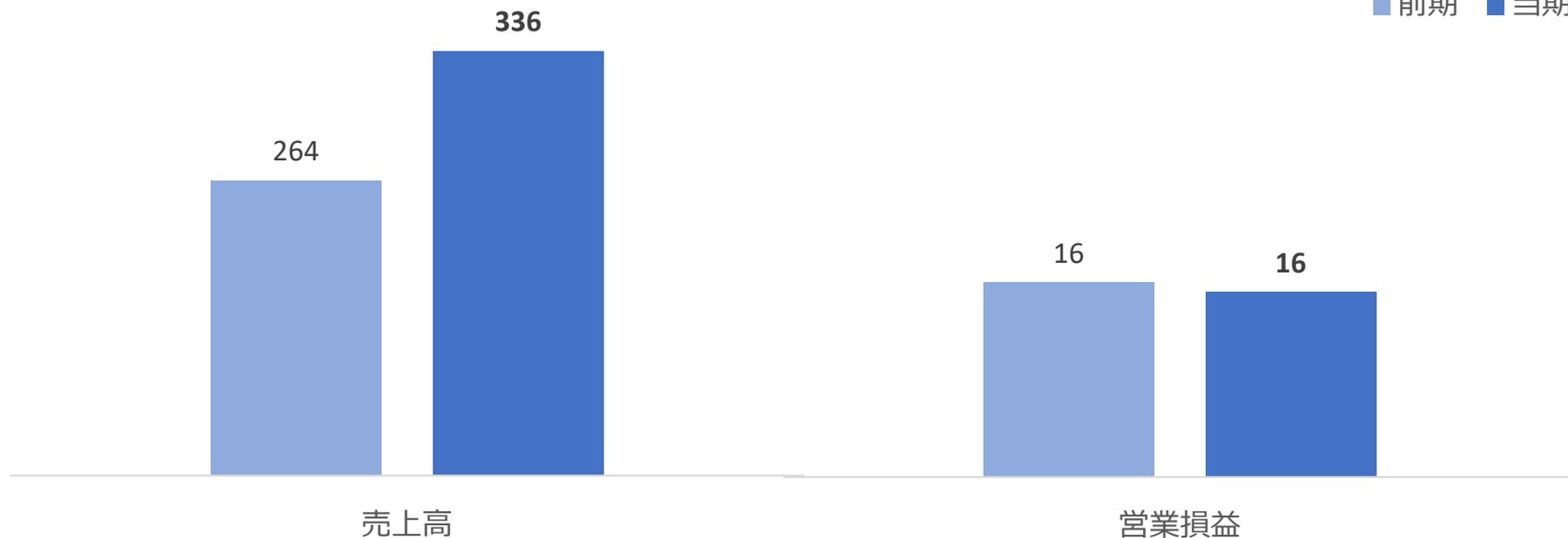
- J R東海向けN700S新幹線電車や315系電車、東京都交通局向け電車、名古屋鉄道向け電車などの売上があり、公営・民営鉄道向け車両の売上が増加したことなどにより増収。

## <営業損益>

- 売上案件の製品構成群の変化により、利益は前年並み。

(単位：億円)

■ 前期 ■ 当期



# 建設機械事業

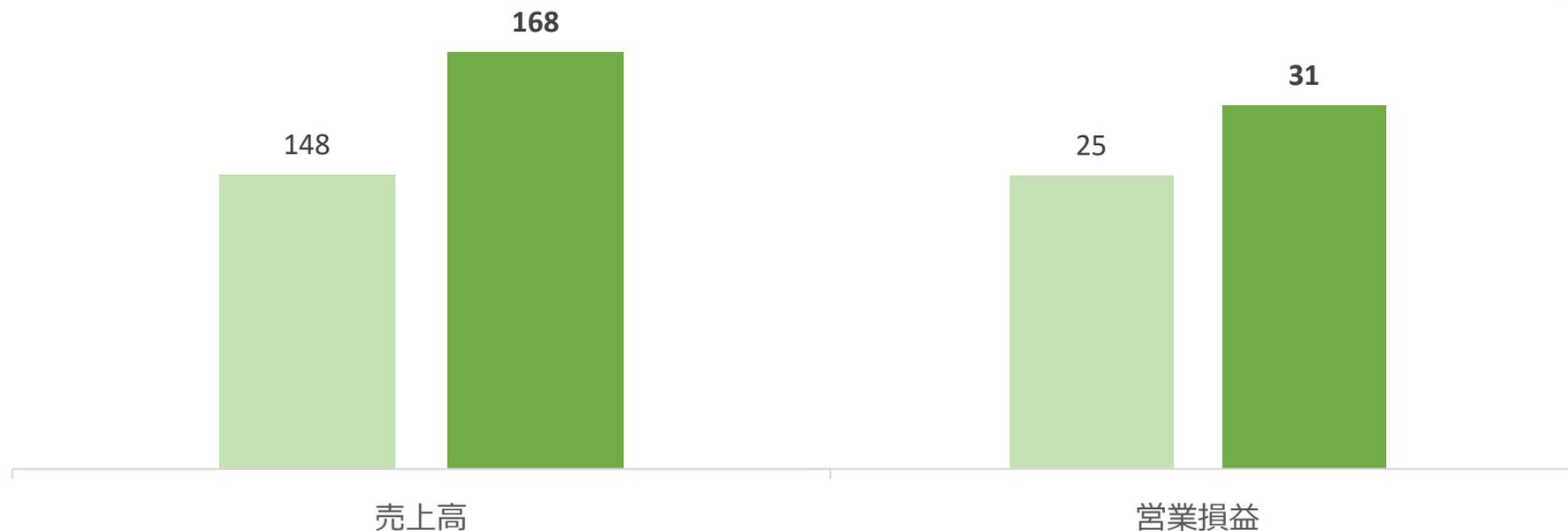
## <売上高>

- 大型杭打機、小型杭打機、全回転チュービング装置などの売上があり、国内向け大型杭打機や部品等の売上が増加したことなどにより増収。

## <営業損益>

- 増収により増益。

(単位：億円)  
■ 前期 ■ 当期



# 輸送用機器・鉄構事業

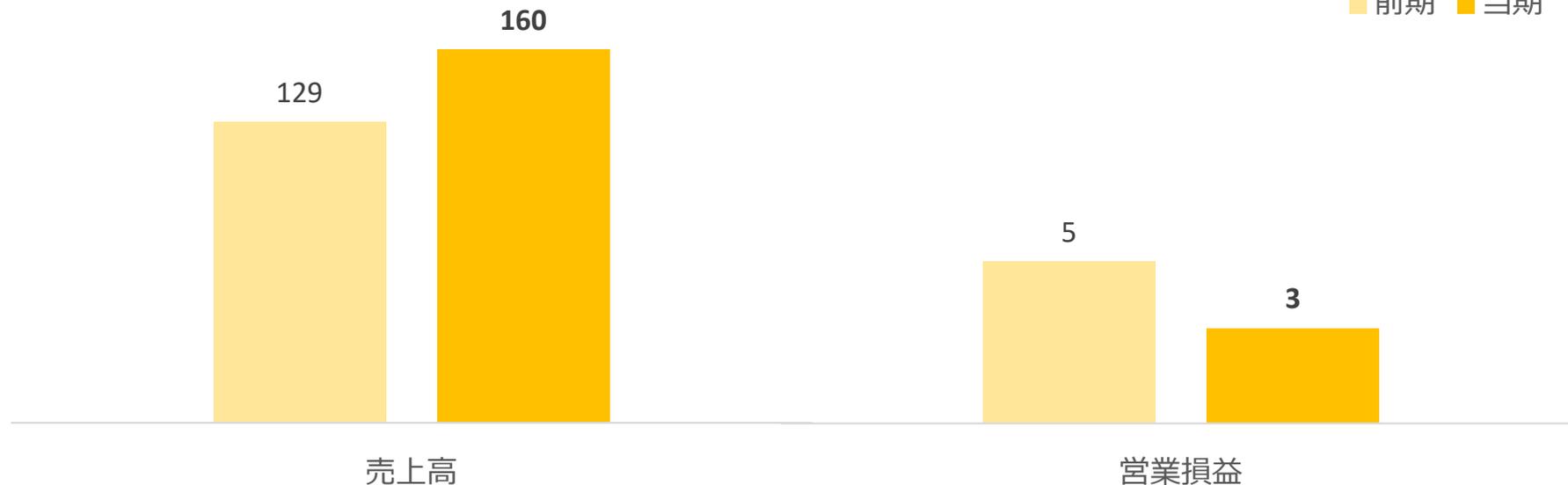
## <売上高>

- 輸送用機器は、民生用バルクローリ、大型自走式キャリア、無人搬送装置、貨車などの売上があり、LNGタンクトレーラの売上が増加したことなどにより増収。
- 鉄構は、飯沼川高架橋、養老IC本線橋、東海環状員弁川橋などの売上があり、道路橋の売上が増加したことなどにより増収。

## <営業損益>

- 増収の一方で、鉄構事業の変更契約協議中の一部の案件で原価が先行発生し、一時的に採算が悪化したことなどから減益。

(単位：億円)  
■ 前期 ■ 当期



# エンジニアリング事業

## <売上高>

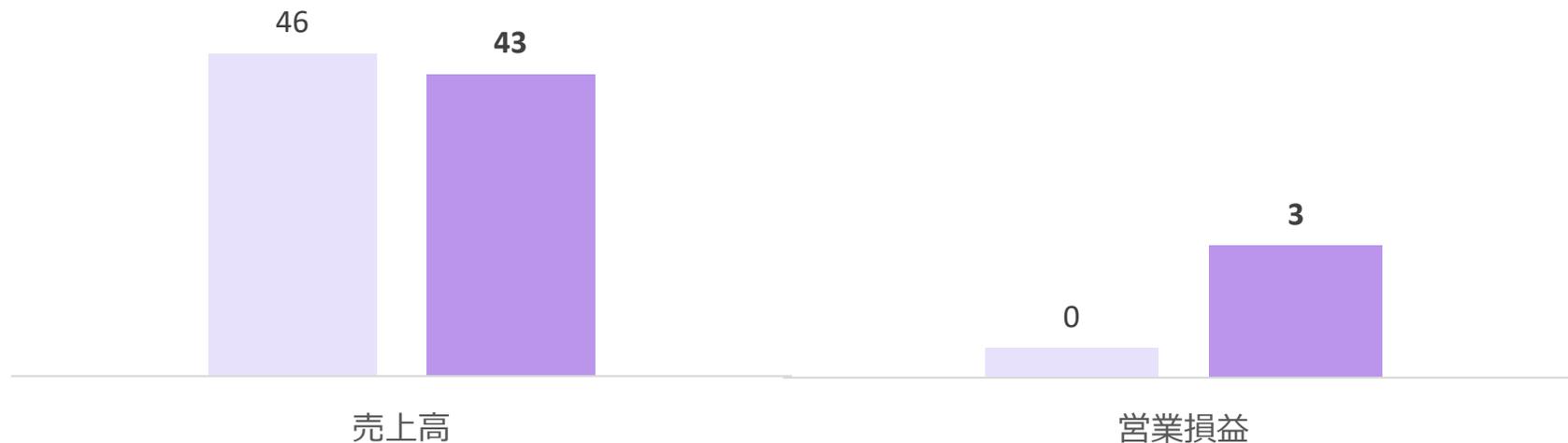
- 鉄道事業者向け機械設備のほか、各地のJ A向け営農プラント、家庭紙メーカー向け製造設備などの売上があり、鉄道事業者向け機械設備の売上が減少したことなどにより減収。

## <営業損益>

- 減収ではあったものの、個別案件の利益率が向上したことなどにより増益。

(単位：億円)

■ 前期 ■ 当期



## 2025年3月期 連結通期業績見通し

2024年10月28日の決算発表時に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

(単位：億円)

科目	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (業績見通し)	増減	前期比
売上高	880	910	+29	+3.3%
営業利益	60	55	△5	△9.2%
経常利益	63	57	△6	△9.6%
(売上高経常利益率)	(7.2%)	(6.3%)	(△0.9%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	53	50	△3	△7.1%

## 日本車両

※本資料の業績見通しに記載されている将来の数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。